

岡本 健彦 「1964-2005」

2020.8.30 - 2020.10.18



「Untitled」 1964/2010 162.1×130.3cm oil and wire on canvas

この度、rin art association では岡本健彦個展「1964-2005」を開催致します。

本展では 1964 年から 2005 年までのハード・エッジ絵画群に焦点を当て展示いたします。

1963 年にニューヨークへの渡米直後にワイヤーを絵画空間へ持ち込むことに成功し、「シェイプト・カンヴァスの姿が現れたときの感慨は忘れがたいものであった」と語っている岡本。帰国後は精力的に絵画メカニズムの限界への挑戦、見直しを続け、1992 年に群馬県の現吉井町にスタジオを移してからは、日本的に大和絵の空間作りの見直しを 2016 年に故人となるまで進めておりました。晩年の未発表作も御高覧いただけます貴重な機会となりますので、御来廊のほどよろしく願い申し上げます。

岡本 健彦 (おかもと たけひこ)

1934-2016 年 神奈川県生まれ

横須賀高校時代から画家を志し、多摩美術大学で絵画を学ぶ。

大学卒業後の 1963 年に、当時世界の芸術の中心地だったニューヨークに渡り、最先端の動向を吸収する。幾何学的抽象表現が見直され、色面を明確な線で区切った「ハードエッジ」や、シェイプト・カンヴァス (変形カンヴァス) による表現を追求する。1968 年に帰国後は、福島、東京と移り住み 80 年代を通じてアクリル板に着色したレリーフ状の作品を発表する。1992 年から群馬県多野郡吉井町 (現・高崎市吉井町) にスタジオ兼住居を構え、合板や金属を半立体的に組み合わせるなど絵画表現の新しい可能性を追求する。2016 年 9 月他界。

主な展示に、2012 年「TAKE OKAMOTO 展」ガトーフェスタ ハラダ本社ギャラリー (群馬)、2011 年「岡本健彦 横須賀、ニューヨーク、高崎」群馬県立近代美術館 (群馬)、2003 年「岡本健彦展」(横須賀市、横須賀市教育委員会主催) 横須賀市文化会館市民ギャラリー (神奈川)、1994 年「現代美術への招待 岡本健彦・山田展也二人展」高崎市美術館 (高崎)、1984 年「第 15 回日本国際美術展」東京都美術館 (東京) / 京都市美術館 (京都)、1967 年「ニューヨーク・ハイライト展」オールドリッチ現代美術館 (リッジフィールド、コネティカット州)、1965 年「ニュー・フォームズ展」ラリー・オールドリッチ美術館 (リッジフィールド、コネティカット州) などがある。

[水-日] 11:00 - 19:00 [月-火] 休廊

contact

rin art association

370-0044 群馬県高崎市岩押町 5-24

t: 0273-87-0195 e: contact@rinartassociation w: <http://rinartassociation.com>